

米国株式の見通しと、米大統領選から考える銘柄選び

2020年8月22日（土）

楽天証券株式会社

株式・デリバティブ事業部

松村 梨加

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようようお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.45%（0.495%）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：20米ドル（22米ドル）

中国株式 約定代金の0.5%（0.55%）・最低手数料：500円（550円）・上限手数料：5,000円（5,500円）

アセアン株式 約定代金の1.00%（1.10%）・最低手数料：500円（550円）・手数料上限なし

※（）内は税込金額

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,000円（税込2,200円）が追加されます。

ETF／ETNのリスク(抜粋)

複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のロールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

ETFにおける信用リスク

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

ETN発行体の信用リスク

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

早期償還等のその他のリスク

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合は、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF／ETNのリスク」をご覧ください。

講演内容

1. 米国株式市場の見通し
2. 米国大統領選の行方
3. どちらに転んでも恩恵を受けるセクター
4. バイデン氏が勝利した場合に備える



1. 米国株式市場の見通し

ベアマーケットが史上最速で終了！しかし今後は警戒感が高まる展開

S&P500指数の推移（1年間）



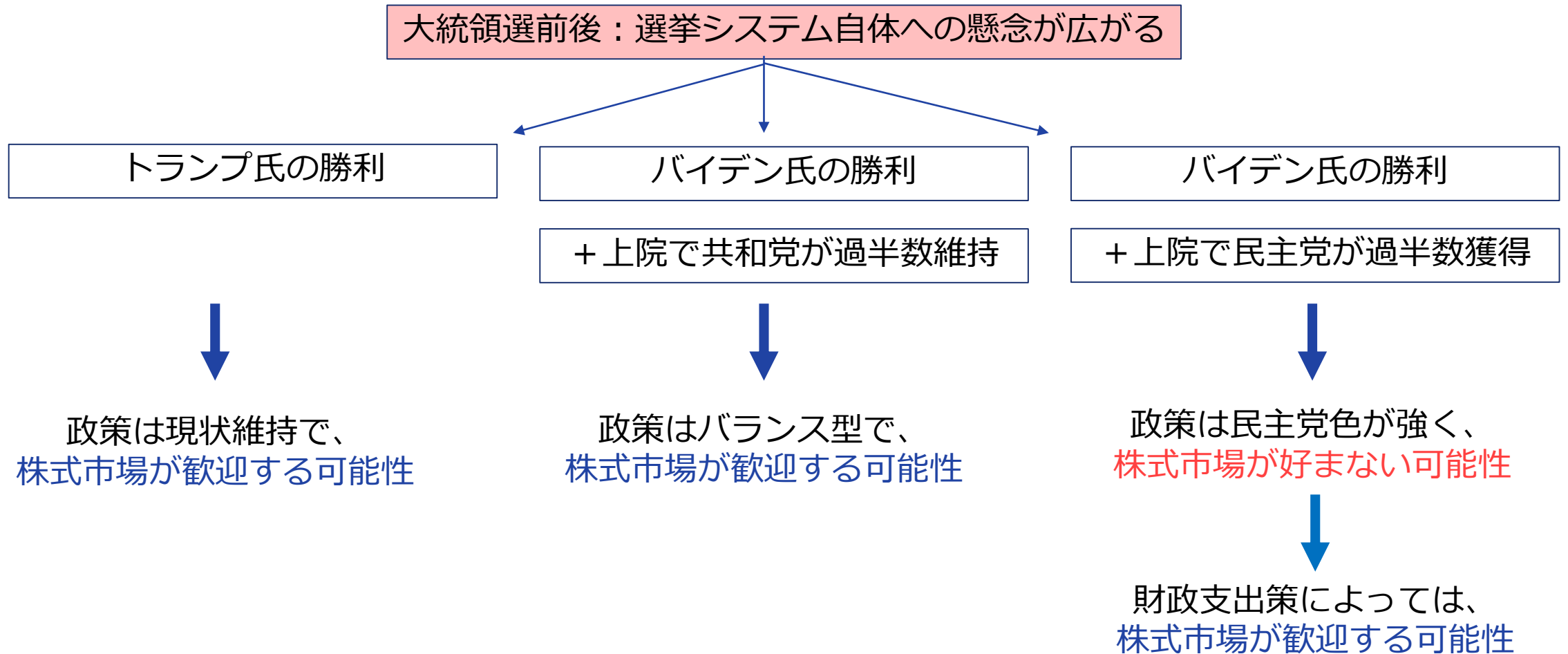
【投資家が警戒している3つのリスク】

- ① 異例な状況下で行われる米大統領選
- ② 米中対立激化による経済への悪影響
- ③ 秋冬の新型コロナ拡大と追加施策の規模

(出所) 楽天証券ホームページより楽天証券作成 (8月17日まで)

2. 米国大統領選の行方

異例な状況下で行われる米国大統領選、株式市場にとってリスクとチャンスが混在



3. どちらに転んでも恩恵を受けるセクター

トランプ氏、バイデン氏、どちらが勝っても恩恵を受けるセクターはインフラか

【インフラセクターの注目点】

- ①両陣営ともインフラ関連法案を進める可能性大
- ②インフラの経年劣化を背景にした需要の発生
- ③国内回帰の生産・サプライチェーン構築も追い風か

【インフラセクターの注目銘柄】

－PERとコスト削減力から選定－

- ①ユナイテッドレンタルズ (URI)
- ②ユニオンパシフィック (UNP)
- ③バルカン・マテリアルズ (VMC)

4. バイデン氏が勝利した場合に備える

バイデン氏が勝利した場合、クリーンエネルギーセクターに追い風

【クリーンエネルギーセクターの注目点】

- ①バイデン氏はクリーンエネルギーを推進する可能性大
- ②開発コストが下がり、ビジネスとしての採算性が向上中
- ③採算性が向上すれば、政府の施策関係なく需要拡大が見込まれる

【クリーンエネルギーセクターの注目銘柄】

—PERと業績拡大の実績から選定—

- ①ネクステラエネルギー (NEE)
- ②クアンタ・サービシズ (PWR)
- ③カミンズ (CMI)

4. バイデン氏が勝利した場合に備える

スマート・グリッド、スマート・ビルディング銘柄にも注目

- ・ キャリアグローバル（CARR）・・・業務用および家庭用の空調機器等の販売、
火災やセキュリティのソリューション提供
- ・ ブルーム（BE）・・・天然ガスを利用した燃料電池を展開、
2022年に水素燃料電池を韓国企業に供給する予定
- ・ ABB（ABB）・・・スイスの会社。電力・自動化テクノロジーに従事、
事業分野は、発電、電力システム、オートメーション製品、工程自動化
- ・ ジョンソンコントロールズインターナショナル（JCI）・・・空調システム、ビル管理
- ・ コルボ（QRVO）・・・通信市場向けの高性能アナログ・混合シグナル集積回路の設計、
開発、製造、販売。
無線セキュリティ、自動メーター読み取りなどのワイヤレス通信にも使用される。

4. バイデン氏が勝利した場合に備える

第2のテスラを探す動きはバブル？

【思惑①電気自動車の次にくるのは電気トラック！？】

関連銘柄 ニコラ (NKLA) ワークホース・グループ (WKHS)

【思惑②燃料電池が遂に活躍する時が来た！？】

関連銘柄 プラグ・パワー (PLUG) バラード・パワーシステムズ (BLDP)
リンデ (LIN) エアー・プロダクツ&ケミカルズ (APD)

Rakuten 楽天証券